

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計(   ) <input type="checkbox"/> 企業会計(   )		財務会計上の短縮番号	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	1051	1	担当部課名	都市建設部交通・総務課
				担当課長名

## 1 事務事業の概要

施策名	住宅の充実
第1期実施計画の事業名	市営住宅管理事業
財務会計上の事業名	市営住宅管理事業
事業の対象【誰(何)を】	市営住宅入居者
事業の手段【どうする(させる)ことで】	既存市営住宅の維持・管理実施
事業の目的【どのような結果を得るか】	「池田市市営住宅ストック総合活用計画」に基づき、市営住宅を計画的に維持管理する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成   年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限(平成   年度~平成   年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	市営住宅の空き家修繕、入退去の管理業務、収入申告の受付業務等の委託
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	公営住宅法第21条・公営住宅法施行規則第5条・池田市営住宅条例施行規則第11条

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		149,953		139,111		139,094		
内 訳	人件費(人・千円)	0.50	4,000	0.50	4,000	0.50	3,900	0.50	3,900	100.0%
	正職員	0.50	4,000	0.50	4,000	0.50	3,900	0.50	3,900	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			153,953		143,111		142,994		149,343	99.9%
財 源	国・府支出金		7221		19235		20172		16744	104.9%
	受益者負担 B									-
	その他財源		68710		75101		77762		82428	103.5%
	一般財源		78,022		48,775		45,060		50,171	92.4%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区 分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市営花園住宅の用途廃止	戸	44	—	—	—	—
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	UR緑丘住宅の借上げ公営住宅	戸	60	—	—	—	—
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	計画的な維持・修繕の実施	団地	7	7	7	7	7
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	公共施設の適正な維持・管理
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	(財)公共施設管理公社へ市営住宅の管理委託を平成22年度より実施

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
平成24年度策定の「池田市市営住宅長寿命化計画」により、計画的な整備を行う。	市営住宅の中で、老朽化した住宅の整備(建替え等)

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計(   ) <input type="checkbox"/> 企業会計(   )			財務会計上の短縮番号
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	1051		担当部課名	都市建設部交通・総務課
			担当課長名	小林 勝明

1 事務事業の概要

施策名	住宅の充実
第1期実施計画の事業名	市営住宅長寿命化事業
財務会計上の事業名	市営住宅長寿命化事業
事業の対象【誰(何)を】	市営住宅入居者
事業の手段【どうする(させる)ことで】	市営住宅の維持管理・更新、市営住宅長寿命化計画の策定
事業の目的【どのような結果を得るか】	市営住宅の長寿命化を図る。
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 (平成   年度 ~   年度 ) <input checked="" type="checkbox"/> 時限 (平成24年度~平成34年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成   年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)					3,570		20,000	
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.20	1,560	0.20	1,560	-
内訳	正職員		0		0	0.20	1,560	0.20	1,560	-
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			0		0	5,130		21,560		-
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		0		0	5,130		21,560		-
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	計画の策定	回			1		
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 平成24年度において計画を策定し、今後その計画において事業を実施していく。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 建替え事業・大規模改修などは、国費の対象事業であるため、府・国との調整が必要である。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策 市営住宅の維持管理等についての方向性の計画の策定をした。	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
--	--------------------------

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 (   )	<input type="checkbox"/> 企業会計 (   )	財務会計上の短縮番号 4635
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	1052	2	担当部課名	都市建設部審査課
				担当課長名

## 1 事務事業の概要

施策名	住宅の充実
第1期実施計画の事業名	建築指導事務事業
財務会計上の事業名	建築指導事務事業
事業の対象【誰(何)を】	市民
事業の手段【どうする(させる)ことで】	建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する基準について、建築基準法に基づき建築指導行政を実施する。(建築確認申請の審査・検査、建築物の許認可、その他関係法令の審査、建築相談等)
事業の目的【どのような結果を得るか】	市民の生命、健康及び財産の保護を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 14 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	
建築基準法、池田市建築基準法施行条例、池田市建築基準法施行規則、その他建築基準関係規定	

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		9,013		9,027		7,878		
人件費(人・千円)		7.85	49,120	7.23	53,792	5.23	35,304	5.16	34,758	72.3%
内訳	正職員	5.05	40,400	6.31	50,480	4.33	33,774	4.26	33,228	68.6%
	再任用短時間勤務職員	2.00	7,200	0.92	3,312		0		0	0.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.80	1,520		0	0.90	1,530	0.90	1,530	-
支出合計 A			58,133		62,819		43,182		39,536	68.7%
財源	国・府支出金		172		82		42		110	51.2%
	受益者負担 B		4,795		3,573		3,658		8,686	102.4%
	その他財源		266		269		296		187	110.0%
	一般財源		52,900		58,895		39,186		30,553	66.5%
受益者負担率 B÷A			8.25		5.69		8.47		21.97	148.9%

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	中間検査率の向上	%	99	99	—	—	100
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	完了検査率の向上	%	98	96	—	—	100
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	確認申請等審査事務	件	480	394	460	—	500
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	中間・完了検査申請事務	件	899	800	1,028	—	1000

## 3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 今後も特定行政庁としての業務を継続して実施していく必要があると考える。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 特定行政庁としての判断が求められるため。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
景気の低迷から少し回復してきたのか確認・中間・完了検査事務件数は増加しているが、中間・完了検査の受験率向上について今後も継続的に行う必要がある。	景気の低迷により確認・中間・完了事務件数は、伸び悩んでいるが、中間・完了検査率については少しずつではあるが向上しており、継続的に行う必要がある。

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 (   )	<input type="checkbox"/> 企業会計 (   )	財務会計上の短縮番号 4663
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	1052	3	担当部課名	都市建設部審査課
			担当課長名	鎌田 耕治

## 1 事務事業の概要

施策名	住宅の充実
第1期実施計画の事業名	既存民間建築物アスベスト対策補助事業
財務会計上の事業名	既存民間建築物アスベスト対策補助事業
事業の対象【誰(何)を】	建築物の所有者
事業の手段【どうする(させる)ことで】	既存民間建築物の所有者が行うアスベスト対策に対して補助金を交付する。
事業の目的【どのような結果を得るか】	建築物のアスベスト健康被害に対する不安の解消を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 21 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	補助金額を上限100万円に見直し
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	社会資本整備総合交付金交付要綱、池田市既存民間建築物アスベスト対策補助金交付要綱

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		0	0	0	0	1,250	-	
人件費(人・千円)		0.23	1,840	0.08	640	0.07	546	0.07	546	87.5%
内 訳	正職員	0.23	1,840	0.08	640	0.07	546	0.07	546	87.5%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	0	0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0	0	0	0	0		0	-
	非常勤職員		0	0	0	0	0		0	-
	アルバイト		0	0	0	0	0		0	-
支出合計 A			1,840	640	546	1,796	85.3%			
財 源	国・府支出金					750	-			
	受益者負担 B						-			
	その他財源						-			
	一般財源		1,840	640	546	1,046	85.3%			
受益者負担率 B÷A							-			

指標値	区 分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	既存建築物のアスベスト除去等	件	0	0	0	—	1
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	既存建築物のアスベスト成分検査	件	0	0	0	—	5
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	アスベスト対策啓発活動	回	3	1	1	—	3
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 アスベスト対策を推進するため、制度を継続して実施することが必要と考える。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 補助事業であるため。(国)

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
啓発活動を積極的に行うことが必要である。また、成果としての実績は少ないが、人体に影響する危険な物質であり、継続して事業を実施する必要がある。	啓発活動を積極的に行うことが必要である。また、成果としての実績は少ないが、人体に影響する危険な物質であり、継続して事業を実施する必要がある。